



講座コードR43

病態の理解から展開する整形領域の離床・ADLアップ

HP
脊椎編

プロから鋭い視点を学ぼう! 脊椎疾患へのアプローチ

～細やかな“気遣い”評価が患者を救う～



2020年10月18日 日 10:00～16:10

会場：インターネット生ライブ中継

講師：瀧田 勇二先生（白金整形外科病院）

対象：看護師・PT・OT・ST（左記以外も受講可）

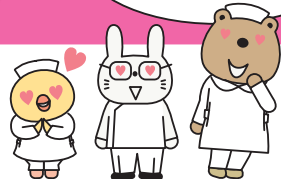
受講料：一般 **12,800** 円(税込) 会員 **9,800** 円(税込) ※先着順 定員になり次第締切

腰部へのアプローチ すべて同じになっていませんか？

たしかに機能解剖と運動学は大切。でも、正常をもとに考えていると、腰”だから”というだけで、アプローチがみんな同じに…ワンパターンの介入は、当然、患者さんの状態を悪くします。そんな解決策は「病態を理解して丁寧に評価すること」。この講座では代表的な脊椎疾患の病態を手掛かりに、画像読影・触診のポイントからリハビリの仕方まで、わかりやすく解説。多彩なアプローチを実現します。さあ、あなたも第一線のプロから診るべきポイントを学んで、メディカルとしての「引き出し」を増やしてみませんか？

苦手な脊椎リハを
今日こそ克服！

脊椎疾患をマスターする病態別プログラム



押さえておきたい！
脊椎リハの基礎知識

- ・脊椎リハの肝はTwo column theory
～レントゲン側面像から展開する積極的リハビリテーション～
- ・覚えておくべき脊椎手術の目的と合併症
- ・整形リハの登竜門！ 痛みのみかたと薬物療法の基礎知識



腰椎分離症

- ・目指すのは癒合？それとも無痛性偽関節？
CT・MRIからリハ方針を決定しよう
- ・分離からすべりに移行するのはこんな症例
レントゲン正面像の読むべきポイント

外傷性頸部症候群(いわゆる むちうち症)

- ・運動療法を保留すべき危険なボーダーラインはここだ！
- ・もう怖がらない！ 評価のポイントと積極的可動域練習
やってみよう、即効簡単アプローチ
- ・薬が効かない頭痛に対する評価とADL指導のしかた

頸椎後縦靱帯骨化症

- ・脊髄症と神経根症を鑑別して実現する先読みリハ
・できていますか？
頸髄症患者の寝具の評価適切な指導



腰椎椎間板ヘルニア

- ・中間位？ 伸展位？ 腰部の肢位はMRIを覗いて決める！
- ・短期決戦？ 長期戦？
MRIで髄核の脱出度合いからADLを見極める

脊髄性歩行障害

- ・痙性歩行障害がある場合の離床重症例から学ぶ
痙性歩行の特徴と予防策
- ・失調性歩行障害への介入
後索路障害に対するエクササイズの手決め手はコレ



腰痛症

- ・必見！ 9割を回復へと導く
6週間のエクササイズの方法
- ・慢性腰痛に対する認知行動療法のススメ

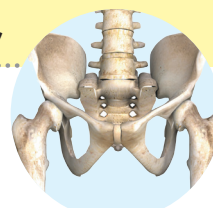


脊椎圧迫骨折

- ・むしろ椎弓を読む！ 画像読影のポイント
- ・固定術後はココを診る！
隣接関節を活かした
- ・BKP後のリハビリテーション

仙腸関節障害

- ・特有な痛みを見抜け！
意外とシンプルな評価ポイント
- ・これは使える！ 簡単・即効徒手療法の実際



※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース1単位を取得できます。

申込方法

- ① ホームページよりオンライン登録
- ② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAX または郵送
申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683 Eメール jsea@rishou.org

